

RYOBI

**2014年3月期
第2四半期
決算資料(詳細)**

リョービ株式会社

2013年11月

当資料には、当社の計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が含まれています。

これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、これにはリスクおよび不確実な要素が含まれています。

当社の実際の行為、業績は、経済情勢、事業環境、需要動向、為替動向等により、将来予想とは大きく異なる可能性があります。

■目 次

I . 2014年3月期 上半期 連結業績概要

II . 2014年3月期 通期 連結業績予想

III . 事業別の状況

3

**I . 2014年3月期 上半期
連結業績概要**

4

■業績の概要

増収・増益

売上は4年連続の増収、利益は3年ぶりの増益

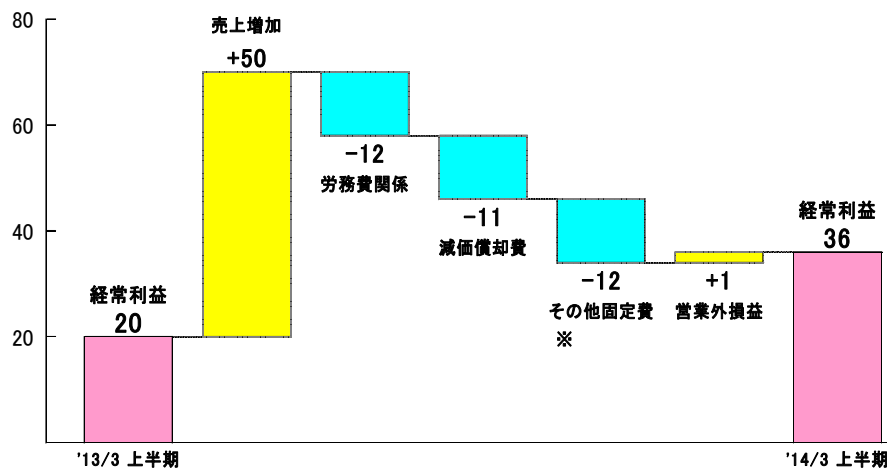
単位: 億円

	'12/3上半期		'13/3上半期		'14/3上半期		前年同期比	
	(利益率%)	実績	(利益率%)	実績①	(利益率%)	実績②	②-①	<増減率>
売上高		817		826		938	+112	<+13.5>
営業利益	(5.3)	43	(2.7)	22	(4.0)	37	+15	<+67.9>
経常利益	(4.9)	40	(2.4)	20	(3.8)	36	+16	<+81.2>
当期純利益	(2.8)	23	(1.4)	12	(3.7)	35	+23	<+196.9>
	'12/3期末		'13/3期末		'14/3上半期末		前期末比	
		実績		実績①		実績②	②-①	<増減率>
総資産		1,877		2,147		2,255	+108	<+5.0>
自己資本		733		785		879	+95	<+12.1>
有利子負債		575		791		804	+12	<+1.6>

5

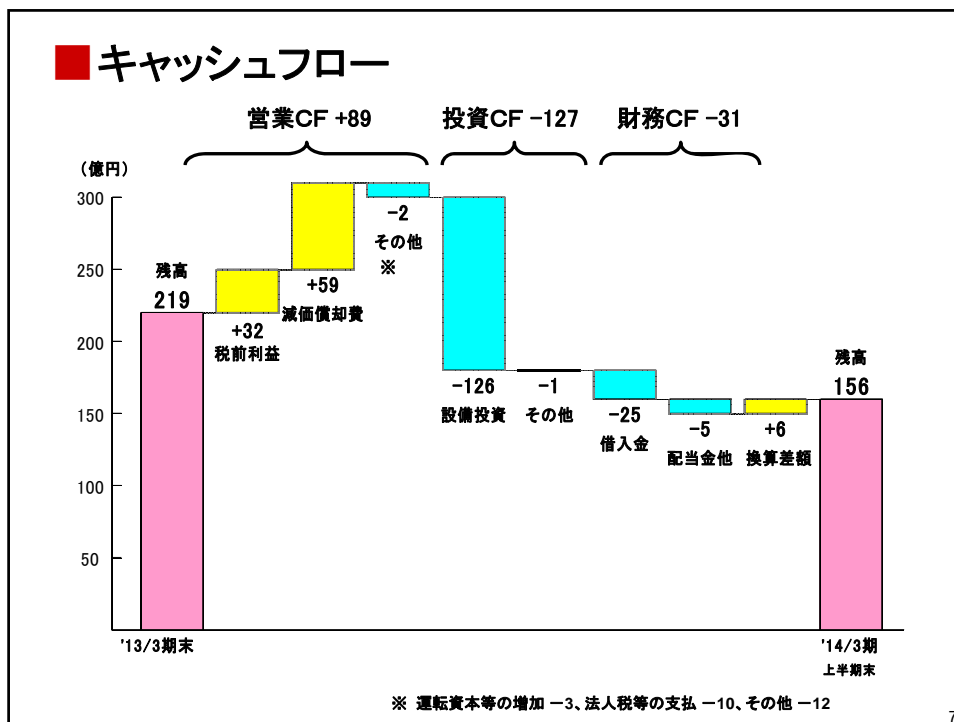
■経常利益増減要因

(億円)



※ 水道光熱費 -5、消耗品費 -3、その他 -4

6



■ 事業別の業績

単位: 億円

	'12/3上半期 (構成比%) 実績	'13/3上半期 (構成比%) 実績①	'14/3上半期 (構成比%) 実績②	前年同期比 ②-① <増減率%>
売上高				
ダイカスト	(72.4) 591	(75.7) 625	(78.1) 732	+107 <+17.1>
印刷機器	(11.8) 96	(9.1) 75	(8.2) 77	+2 <+2.0>
住建機器	(15.8) 129	(15.2) 125	(13.7) 129	+3 <+2.8>
営業利益 (利益率%)				
ダイカスト	(5.5) 33	(2.9) 18	(4.1) 30	+11 <+62.1>
印刷機器	(△4.4) △4	(△9.6) △7	(△0.5) △0	+7 <- >
住建機器	(11.5) 15	(8.8) 11	(6.0) 8	△ 3 <△29.5>

■ 事業別営業利益の増減の要因 (前年同期比)

<ダイカスト事業> (+11億円)

中国での生産拡大に加えて、米国や欧州での堅調な受注、国内での受注の回復により増収、増益。

<印刷機器事業> (+7億円)

国内販売および米州・欧州向けは減少したものの、円安による輸出環境の改善に伴い中国をはじめアジア向けが増加したことから増収。損失は原価低減や経費削減の効果などもあり縮小。

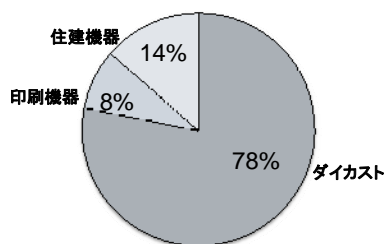
<住建機器事業> (-3億円)

国内販売は減少したものの、主にアジア向けが増加したことから増収。しかし、売上高原価率の上昇や、販売競争が激しさを増していることから減益。

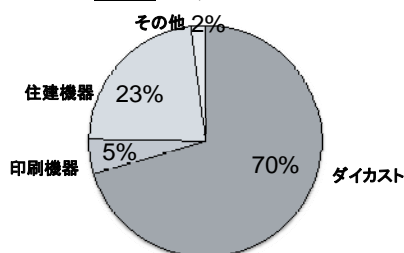
9

■ 事業別構成比 ('14/3 上半期)

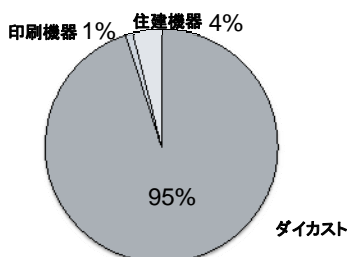
売上高 (938億円)



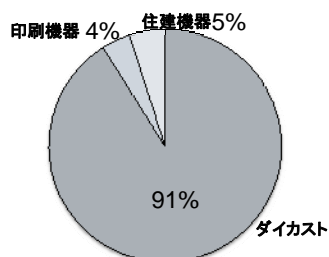
人員 (8,195名)



設備投資 (85億円)



減価償却費 (59億円)



10

Ⅱ. 2014年3月期 通期 連結業績予想

11

■ 経営環境

- ・ 国内は金融緩和、財政支出、成長戦略を柱とする安倍政権の経済政策が円安・株高を招き、輸出や生産、設備投資の持ち直し、個人消費の復調が続いたことから内需の拡大が進み、回復基調で推移。
- ・ 一方で、原油・原材料価格の上昇、米国の財政問題、欧州の債務問題、中国をはじめ新興国経済の減速などが懸念される。

12

■ 業績予想

増収・増益

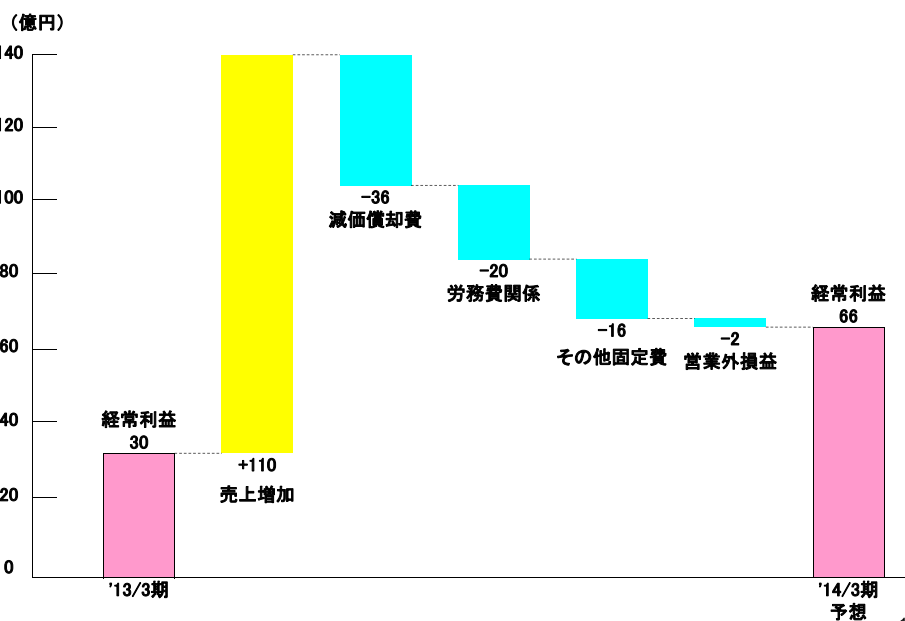
売上は4年連続の増収、利益は3年ぶりの増益

単位:億円

	'12/3期 (利益率%) 実績	'13/3期 (利益率%) 実績①	'14/3期 予想②	前期比 ②-① <増減率>
売上高	1,656	1,666	1,980	+314 <+18.9>
営業利益	(4.7) 77	(2.0) 33	(3.6) 71	+38 <+114.7>
経常利益	(4.2) 70	(1.8) 30	(3.3) 66	+36 <+121.4>
当期純利益	(2.5) 42	(1.2) 20	(1.9) 38	+18 <+89.1>

13

■ 経常利益増減要因 ('13/3期比)



14

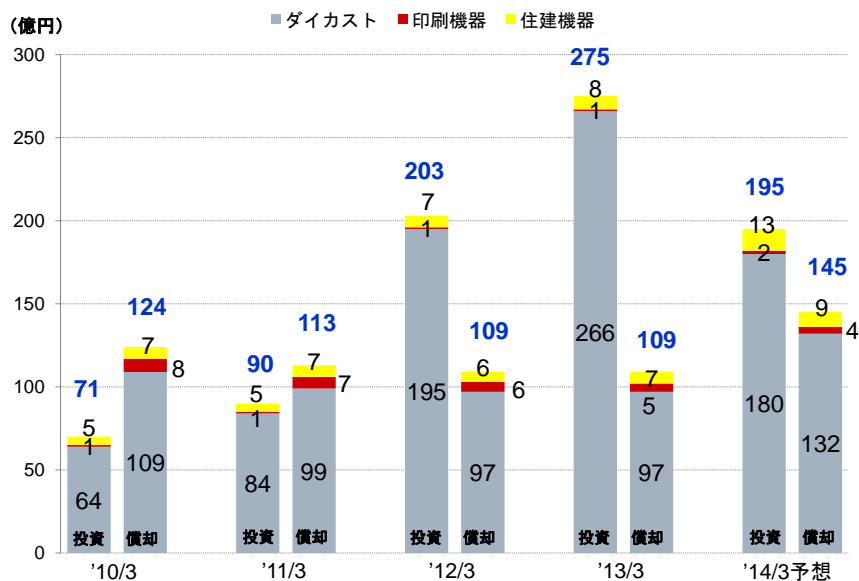
■ 為替レート

	'14/3期 上半期	輸出入レート ※換算レート	'14/3期 下半期想定レート
US \$	98円		100円
	94円		(+74百万円)
EUR	128円		130円
	—		(-2百万円)
Stg £	150円		150円
	146円		(+8百万円)
CNY	15.9円		16.3円
	15.2円		(-50百万円)

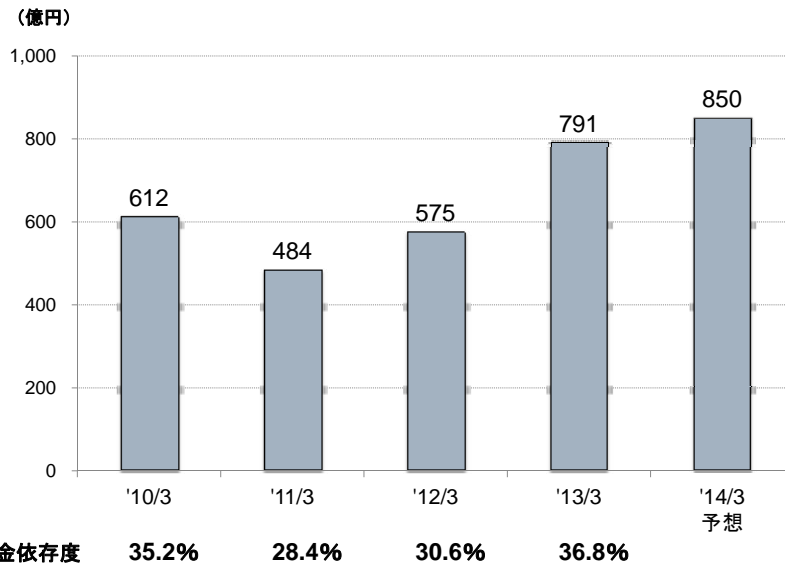
()内は1%円安に変動した場合の年間の営業利益影響額。
※海外子会社財務諸表換算レート

15

■ 設備投資・減価償却費の推移



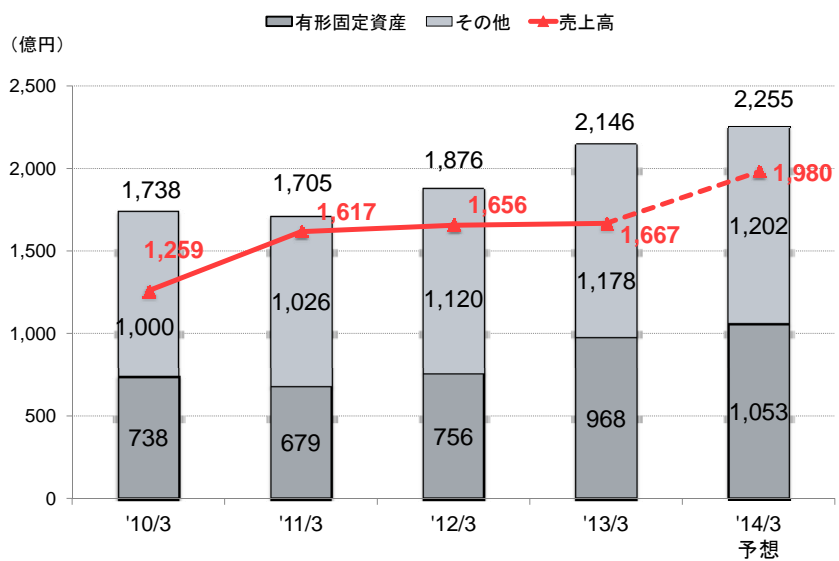
■ 連結有利子負債の推移



〈注〉借入金依存度=有利子負債/総資産

17

■ 売上高・総資産の推移



18

Ⅲ. 事業別の状況

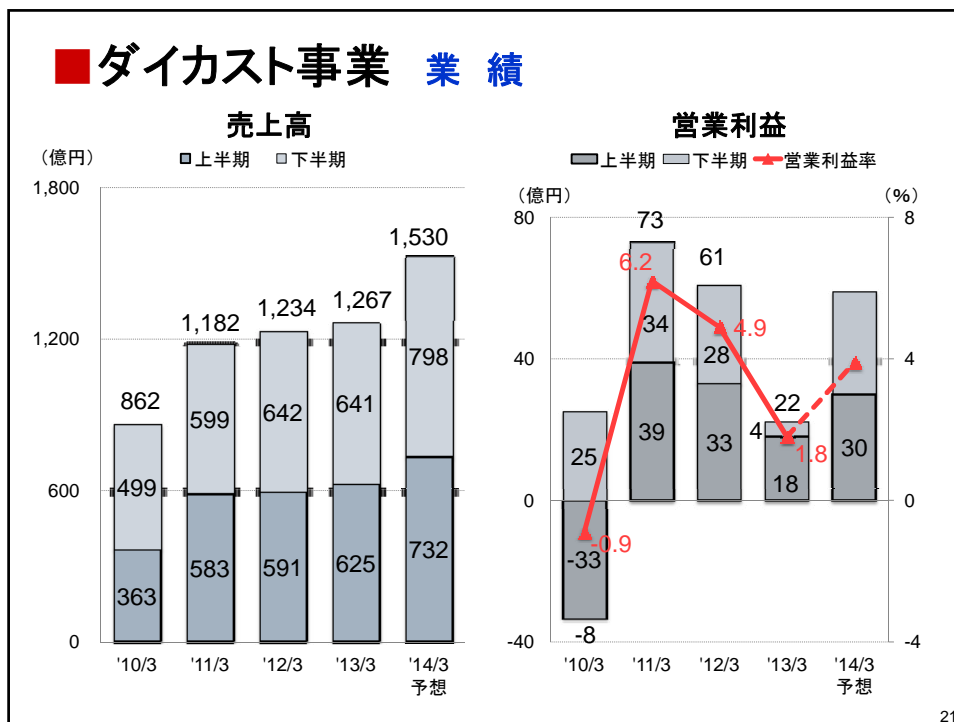
19

■ 事業別の業績

単位：億円

	'12/3期	'13/3期	'14/3期	前期比
	(構成比%) 実績	(構成比%) 実績①	(構成比%) 予想②	②-① <増減率%>
売上高				
ダイカスト	(74.5) 1,234	(76.0) 1,267	(77.3) 1,530	+263 <+20.8>
印刷機器	(10.6) 175	(9.4) 156	(9.6) 190	+34 <+21.9>
住建機器	(14.9) 247	(14.6) 243	(13.1) 260	+17 <+7.0>
営業利益 (利益率%)	(利益率%)	(利益率%)		
ダイカスト	(4.9) 61	(1.8) 22		増加
印刷機器	(△4.1) △7	(△4.6) △7		改善(黒字化)
住建機器	(9.5) 23	(7.3) 18		減少

20



■ ダイカスト事業 方向性

事業展開の方向性

有望市場への資源配分と収益性改善

- 海外事業の先行投資を早期に利益に結び付け、収益性を高める。

重点施策《進捗報告》

海外市場での事業活動の充実

2015/3期以降、生産は軌道に乗り、売上高・利益は拡大する。

- ➡ 中国の生産拡大、北米の需要拡大により順調に推移している。

2015/3期以降、更に収益は拡大する。

国内市場の収益性改善

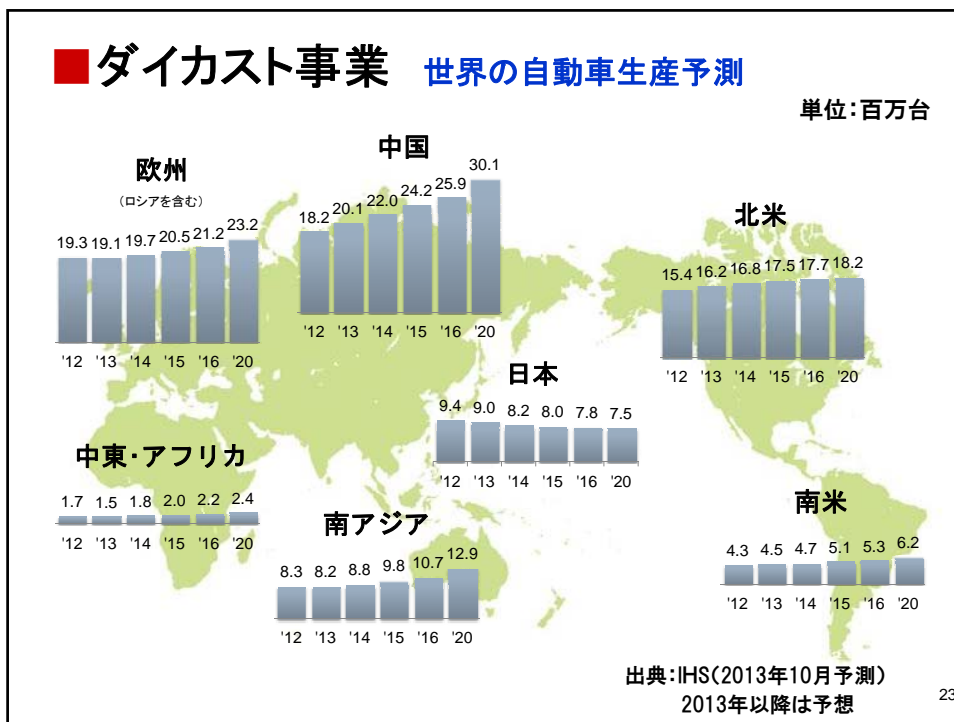
生産性向上と売上高維持。

- ➡ 2014/3期は円安の影響等により国内生産は拡大し、利益率が改善している。

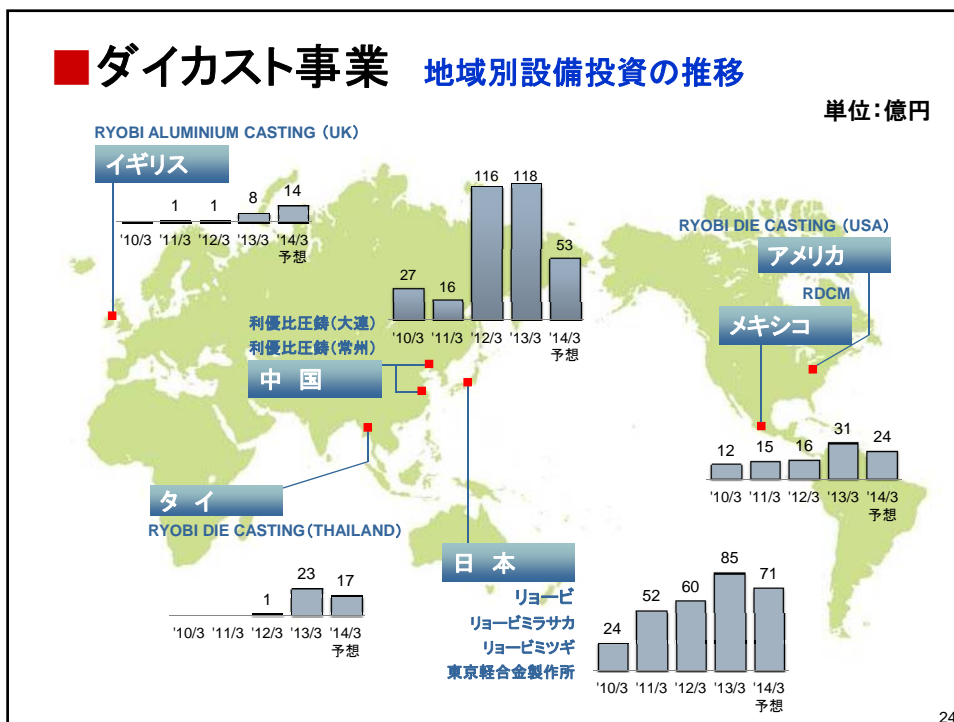
技術開発力強化による新規品受注の拡大

- ➡ 車体部品等のアルミ化に向けた用途拡大を進めている。

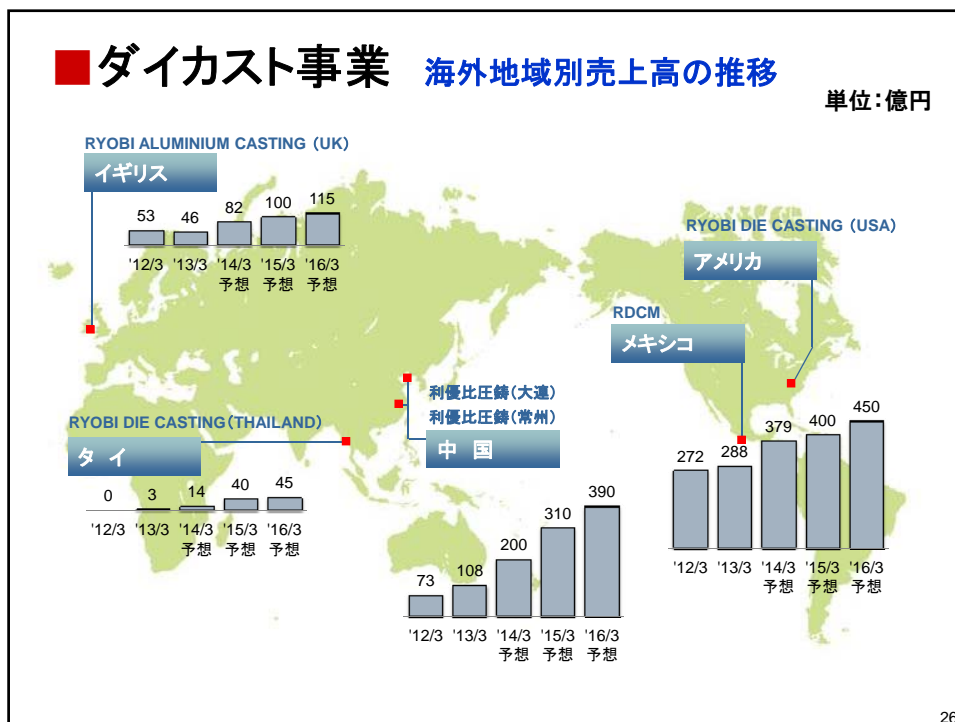
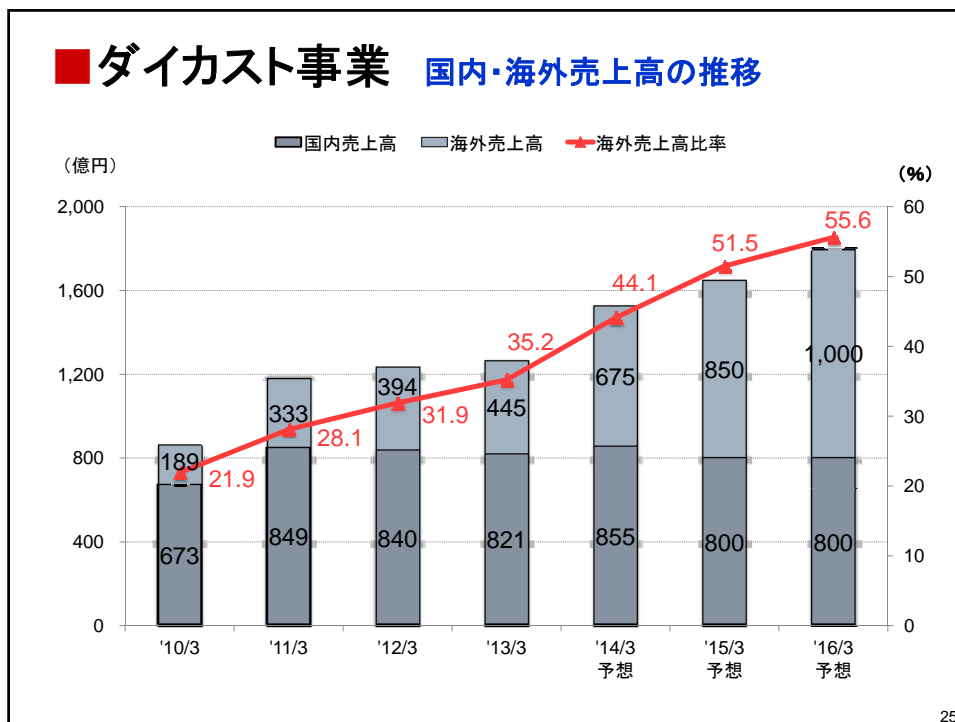
22

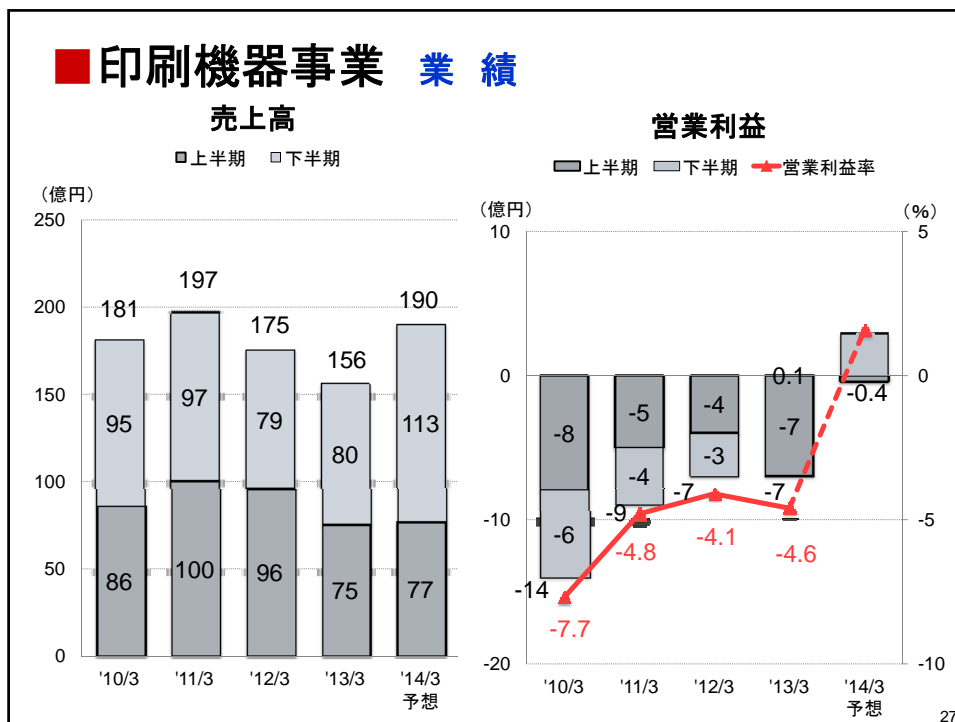


23



24





■ 印刷機器事業 方向性

事業展開の方向性

収益構造変革による安定した収益体質の確立

- お客様個々のニーズに応えることができる
競争力の高い商品を開発し、提供する。

重点施策《進捗報告》

三菱重工印刷紙工機械株式会社との業務提携

➡ 2014年1月1日 創業予定

「リョービMHI グラフィックテクノロジー株式会社」

期待効果 商品ラインアップの補完・拡充、開発力強化、製造コスト低減、販売・サービス力強化。

目 標 売上高300億円、経常利益15億円

競争力のある商品の企画・開発

市場(お客様)の要求に適應した商品開発を進めている。

➡ 合併によるシナジーを発揮していく。

印刷機器事業 合弁会社設立のシナジー

	リョービ	三菱重工 印刷紙工機械	リョービMHI グラフィック テクノロジー
売上高	150億円	100億円	300億円
商品ライン アップ	小・中型機が主力	中型機以上が主力	商品ラインアップ 拡充と開発強化
開発・製造	印刷機に特化した最新 の加工・組立工場	高精度加工能力	生産の効率化
国内販売 サービス	全国13拠点	全国11拠点	サービスの向上
海外販売	広範囲な 海外販売チャンネル	ハイエンドユーザー がメイン	グローバル展開

29

印刷機器事業 商品開発

菊半截オフセット印刷機

RYOBI 680Xシリーズ

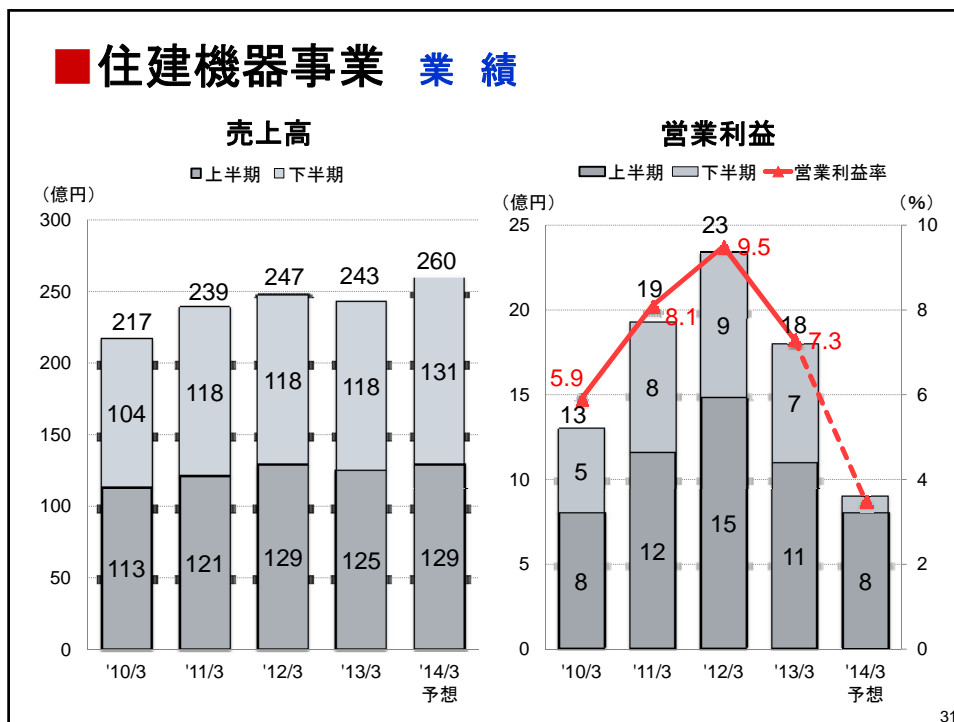


B2判液体トナー方式デジタルオフセット印刷機

RYOBI DP760



30



■ 住建機器事業 業績・方向性

事業展開の方向性

お客様の期待を超える商品の提供

■ お客様目線で将来を予測し、満足度の高い新たな商品(価値)を継続して提供する。

重点施策《進捗報告》

お客様にとって価値の高い商品の開発

市場の声を反映した商品の企画、開発を進める。

➡ 価格競争に巻き込まれない商品の企画、開発に取り組んでいる。

成長市場での売上高拡大

主に中国での営業活動を強化する。

➡ 中国の販売代理店網の整備を推進している。
商品の一部を OEM 調達(供給)で対応している。

工場の生産性改善による価格競争力の強化

生産拠点(中国)の生産性改善と品質保証体制の強化。

➡ 労働生産性の向上により、労働時間短縮を推進している。

32

■ 住建機器事業 商品開発

■ お掃除ツール

ブロワバキューム
RESV-1000



高圧洗浄機
AJP-2100GQ



集じん機
VC-1100



■ 電気耕うん機
ACV-1500

排気ガス
0でエコ



■ 木製ドア用引戸クローザ



33

■ 企業理念

技術と信頼と挑戦で、
健全で活力にみちた企業を築く。

34